



Club Office
京都YMCA本館
〒604 中京区三条柳馬場角
TEL(075)231-4388

THE SERVICE CLUB TO THE Y.M.C.A.
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB
THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO WEST
BAMBOO

12

No.490

2020年12月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)
主題 VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP
(価値観、エクステンション、リーダーシップ)
スローガン TRUST IN THE RIVER OF LIFE
(命の川を信じよう)
アジア太平洋地域会長 Daivid Lua (シンガポール)
主題 Make a difference (変化をもたらそう)
スローガン INSPIRE (奮い立たせよう)
西日本区理事 古田裕和(京都トゥービー)
主題 Let's do it now!
副題 2022に向け誇りを持ってAll is well
京都部部長 中村隆司(京都ウェル)
主題 「人生は一度きり」～出会いからすべてが始まる～

西日本区強調月間

EMC-E・YES

次の世代、新しいクラブ設立の為に、YES献金を100%。
竹園 憲二 EMC事業主任(京都ZEROクラブ)

今月の聖句 マタイによる福音書 1章 21節

マリヤは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。

この子は自分の民を罪から救うからである。

＜注釈＞ 平穏な日々が早く戻りますよう、メリークリスマス！！。(担当主事 阿部和博)

**第41代
会長主題**

万能一心

～try one's best (最善を尽くす)～

会 長 佐治 幹生
副会長 福田 英生・塚本 勝己
書 記 安平 知史・林 茂
会 計 角谷 多喜治

コロナ禍での補助金申請の現状

河合 久美子



今般の新型コロナ感染拡大は各方面に甚大な影響を及ぼし、社会保険労務士として雇用調整助成金のご相談が春頃から増え始め、夏が終わる頃ピークを迎えました。ちょうどウエストクラブの活動が自粛期間中だったため、その間、業務に専念することができました。企業が従業員に支払う休業手当の一部を国が補う制度で、2008年リーマンショック時にも多くのご相談がありました。今回、当初、制度の内容が頻繁に変わり、行政の窓口も相談者であふれかえり、支給も遅れがちでしたが、現在に至り徐々に解消され、支給決定も早くなってきたように感じます。しかし依然として事業縮小を余儀なくされているお客様、やむを得ずコロナ倒産に至られたお客様もおられ、深刻な状況は続いており、今でも継続的に労働局に足を運び、申請手続の業務を続けています。支給率や上限日額が手厚い特例期間も、当初の4/1～6/30から9/30まで延長され、その後12/31まで再延長され、更に先日、来年2月末日まで継続される旨、厚生労働大臣より発表が行われました。

「(助成金が無くなると)年末から雇用が相当厳しくなる」「年末から年明けにかけて仕事を失う人が増えるのではない」「来年以降、労働条件を見直さざるを得ない」という声をしばしば耳にし、また感染者数増加による時短営業を余儀なくされている地域もあり、このような現状を見ますと、来年以降の助成金の特例措置の更なる延長は必要不可欠ではないかと感じております。

また、社会保険労務士としての業務ではなくボランティアの領域になりますが、個人的にクラシック音楽が好きで、不要不急とされ活動の場が失われたプロの音楽家の方々の、国や地方自治体や民間の様々な補助金や支援制度の活用の際し、ご相談を受け、申請に向けた助言をさせていただくこともありました。

私たちが安心して生活し、企業活動はもちろん、ワイズ活動などの奉仕活動、社会活動や文化芸術活動等も安心して行うことができる落ち着いた社会が一日も早く訪れるよう願うばかりです。

2020年度ブリテン製作テーマ

「ワイズを知り友を知り自己を知る」

対談 コロナ禍の今

CS委員会×ブリテン委員会コラボ企画 その2

【高瀬川フーズ株式会社

・・・コロナと戦う経営について】



×



新型コロナウイルスの感染拡大とともに、目に見えて多くの企業で影響が出てきている。そういった逆風下でも、くじけることなく戦う企業の姿を負ったこのシリーズ。今回は、同じウエストクラブのメンバー企業の姿を、前回に続いて林CS委員長がインタビューをおこなった。

話し手 高瀬川フーズ株式会社 執行役員 高橋壮司（ウエストクラブ）

聞き手 ウエストワイズメンズクラブ 林正章CS委員長

～再び拡大し始めたコロナの影響～

林 本日は宜しくお願ひ致します。今日は、コロナ禍における経営というテーマで、色々とお話をきかせてもらいたいと思っています

高橋 こちらこそよろしくお願いします

林 高橋さんの会社は飲食業ということで、特にコロナの影響があるかと思います。まずはコロナショックが始まってから、現在に至るまでの流れについてお話頂けるでしょうか？

高橋 わかりました。当社は木屋町で居酒屋を営んでおります。いつもワイズメンバー様にはお世話になっております。

林 いえいえこちらもありがとうございます

高橋 さて当店の状況ですが、昨年12月までは順調な経営状態だったのですが、2月後半から目立ってキャンセルが入り出しました。そのまま、3月で売り上げは半分にになり、緊急事態宣言の出た4月5月は休業しました。雇用調整金をもらいながら過ごしたのですが、3～5月が稼ぎ時だけに痛かったというのが実感です。

林 聞いているだけで辛いですね・・・

高橋 6月からは25%位になったのですが・・・当社の場合、団体客がメインになるのですが、団体客が10月で例年の3分の1位しか入っていませんでした。

林 木屋町だと学生さんも影響ありますね

高橋 そうなんです。徐々に大学が復活し始めて大学の団体客が戻り出し、11月からは予約も入りだしたのですが、コロナの再発により再び落ち出しました。先日100名の予約にキャンセルが入るということもありました。

林 先行き不安ですね。特に御社の場合、お店も大きいので尚更ですね・・・

高橋 このまま戻らなかったら、来年の春にはこれからのことを考えなくては行けないレベルです。今後も飲食店としてやっていくのか？それとも違うことを考えるのか？

～木屋町という場所～

高橋 実は、この10年くらいの傾向ですが、木屋町は人の割に客として入ってくる人は少なくなってきました

林 それは何故なのですか？

高橋 木屋町に魅力がないというのが答えではないかと思っています。木屋町はクラブがメインとなっているが、そのクラブ関係が大きなダウンとなっており、街としての魅力が落ちている。というか、ないに等しくなりました。ちなみに先斗町の方は外人客がいたが、現在は壊滅状態。でも、先

斗町と木屋町の客層は違うので、実際には連動しているわけではないと思っています。

林 町としてというか、趣味趣向が増えてきた面もありますよね。最近の若い人は飲まない。クルマも買わないといった要素もあり、木屋町そのもののニーズが下がってしまってるように思いますね

高橋 昔にくらべて猥雑さが消えて、表面的な木屋町・・・良くも悪くも行儀良くなってきたように思います。犯罪が減り、喧嘩といったことがなくなったのはいいのですが、町としての魅力、個性がなくなってしまったように思います。木屋町という場所の優位性がなくなってしまったということです。お店そのものが、個性を発揮していかないと、魅力が作り出せなくなってきたと感じています。

～そして未来へ向けて～

林 ちょっとお聞きしたのですが、野菜を作ると聞いたのですが・・・

高橋 当社は、50坪4フロアあるのですが、全部埋まることは全くといってない状態です。そこで、空いているフロアで農業をやるかと思っています。つまり植物工場です。

林 ええ！なんでそんなことを？

高橋 他の人がやっていないということを一つのポイントとして考えていたのですが・・・京都には京野菜というわかりやすいアイコンがあり、これをブランディングすることで、新しいビジネスを起こすことを考えたのです。ブランドは2つ。木屋町ブランドと高瀬川ブランド。きのこは木屋町。京野菜、果物を高瀬川ブランドでと考えています。そのための会社も別途立ち上げる予定です。

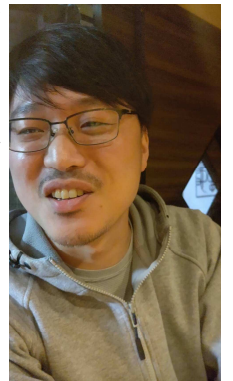
林 僕雇って・・・（笑）。

高橋 付加価値を高いものをやらないと競争には勝てません。苺を作りたいです。1粒千円で売れるようなものと考えています。これは植物工場でないと無理です。完全無農薬、出荷前に糖度を上げることもできます。

林 手掴みで撮って食べられる野菜を目の前で採って食べる。そんな飲食店を目指すということですね！

高橋 これと併せて、牡蠣と肉を使った創作料理のお店への業態変更も併せて今行っています

林 無農薬の野菜と牡蠣と肉・・・オリジナティー溢れる料理。素晴らしい取り組みですね、私もいただきたいです。今日はありがとうございました。



第二例会（東急ホテル） 11/26（木）
地域奉仕・環境 林 正章委員長

佐治期2回目のホテル例会です。佐治会長挨拶はまだまだ不慣れとおっしゃっていましたが、メンバーのことを気遣いながら堂々と話しておられました。

40名ほどの参加があり竹園EMC主任・坂口EMC主査の出席のもと、松本さんの入会式が執り行われ、また新しい仲間が増えました。

例会の中では、40周年例会について各テーブル少人数で討論・意見交換が行われ記念例会の意義とクラブ活動の今後について話し合われました。

おおむねメンバーの意見が一致しており、メンバーがより一丸になった気がしました。



☆（ブリテン委員会追記）

新たに松本啓一ワイズが入会されましたが、松本ワイズについては、1月号のブリテンで改めて紹介させていただく予定です。

リトセンオートムフェスタ 11/15（日）
Yサ・ユース委員会 萬谷 寿顕ワイズ

2020年11月15日 日曜日 雲ひとつない秋晴れの中、京都 Y M C A リトリートセンターにて、オートムフェスタが開催されました。

ウエル、ウエスト、キャピタル、ToBe、ウィング、ZERO、プリンス、めいぷる、みやび、計9つのクラブの皆さんが、いろいろな出店で賑わいました。

ウエストからは、18名(メンバー16名、メネット2名)の参加でした。

新入会員の玉置達也さんが餃子の焼きを担当をされまして大活躍されてました。自然の中で食べればより一層美味しく戴けたのではないのでしょうか。

初めはあまり来ないかな、食材はあまらなにか、少し不安に思っていたのも束の間、あっという間に列が出来売り切れ続出になりました。

コロナ禍でいろいろと気を付けながら次に向けての反省点もありましたが楽しく無事に終わり充実した日でした。



義兄弟 京都ウエストクラブの皆様へ

熊本にしクラブ：岩本 悟

紙面が毎月充実している「BAMBOO」に投稿する事に喜びと共に、緊張を感じます。

ペンタゴン構想は、熊本にしクラブ設立総会当時から森田恵三ワイズの草案で始まり、チャーターナイトの際には確定し、その年の6月開催された西日本区大会の中での締結式となりました。翌年、貴クラブの30周年記念例会に参加した際、牧野会長の挨拶やメンバーが一丸となっておもてなしは今でも鮮明に記憶に残っています。又その際、台湾から沢山の仲間がお祝いに駆け付けていたのも印象的でした。以来、私が理事を受けての区大会にはウエストクラブだけで30名と1クラブで最高の登録。その後の九州部会でも移動例会と称して多数の参加。兄弟クラブとしての熱い友情と絆を感じました。交流では熊本では阿蘇や天草。京都では東映太泰村や翌日のタケノコ堀やBBQ等 楽しい思い出としての交流事業が記憶に残っています。

残念な事に、熊本にしは今年の2月から発生した一部会員による過激な個人批判やコロナ禍によって7名が退会しました。しかし来年1月には1名復帰予定です。

なんといっても「交流」はワイズの醍醐味です。私自身も交流が大好きで、DBC/I BC全ての事業に参加しております。これが私をワイキチにさせ、ひいては人生を心豊かにしてくれた源です！！

今後も楽しい交流を続けながら、少しでもウエストクラブに追いつけるようなクラブ運営ができるように精進いたします。今後とも応援よろしくをお願いいたします！



<付記>ペンタゴンDBC締結前までは、東京・神戸・大阪・京都が西連合クラブと称して日本区大会時に交流していました。ほかにも台北ダウンタウンと十勝とのトライアングルIBC、東京ひがしとのDBCを締結しています。

第一例会兼役員会（三条YMCA）**11/11（木）
ブリテン委員会****YMCAチャリティーゴルフ****11/30（月）****Yサ・ユース委員会 安田 繁治ワイズ**

期間中の最終日（11月30日）に滋賀県ザ・カントリーゴルフクラブにて（角谷・澤田・安田・ゲスト城戸様）参加してきました。

天候はスタート時は肌寒く感じていましたが、時間が経つにつれてこの時期にしては晴天で、気持ちよい気候でした。

ただ評判通りこのゴルフ場はバンカーと池が多く、多少トリッキーなコースでした、とにかくバンカーにさえ入れなければそこそこのスコアで、プレーが出来ると各自思っていました。

ところがゴルフはある面自然との闘いでもあり、目の前にバンカーがあると皆さん引き込まれて2回3回とバンカーショットをしてしまい、風が吹くとボールが風に乘ってしまい思いとは違った方向や、距離が出なかったり悪戦苦闘のスポーツで、終了すると悔いが残りあの時・この時こうすれば・・・

（もっと練習しよう!!!）

と言ったような事を思い、終日楽しい（冷汗）一日を過ごしてきました。

**withコロナの時代の新しい周年事業のあり方〈第5回〉
40周年事業実行委員長 市橋清太郎ワイズ****徳義会への支援事業のあり方について**

平安徳義会さんと我がクラブとはクラブ設立以来のお付き合いがあります。40年前は足りない洗濯機を贈ったりとか、海水浴に付き添いで行ったりだとか、日常を支える為の支援から始まり、交流も盛んで、中古の家電の提供などでも喜ばれ、またそういうことが必要とされていたと聞いています。時は流れ徳義会さんも必要十分な

設備や人員、資金を確保され施設の子ども達が物資や食事などで日常生活に困るようなことは無くなりました。

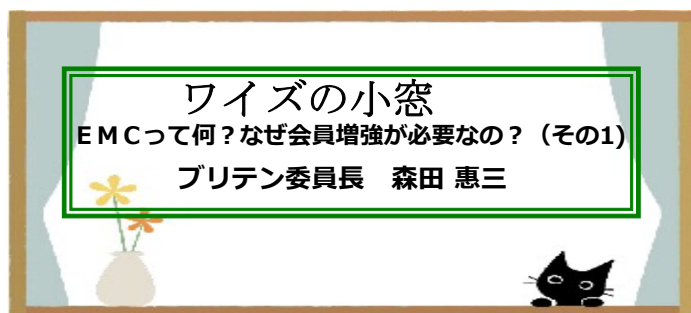
これまで支援の考え方は「平等」であったと思います。全ての子ども達に平等に行きわたる、もしくは施設に広く恩恵を受けるとされる物資やサービスを提供するという考え方です。しかし、生活に不自由がない施設や子ども達に平等に支援できるとなると、人によっては必要であったりなかったり、あってもなくてもどちらでも良いものになりがちです。そこで40周年記念事業(アクト)では「平等」ではなく「公平」へと方向性の舵を切りました。「公平」はみんなにチャンスはあるけれど、それをつかめるのは全員ではありません。40周年で始める成人式サポートも職業支援活動も「私やりたい!」と手を上げた人に、IYC(ワイズユース国際大会)・AYC(ワイズユースアジア大会)参加支援も勉強を頑張ってきて「僕行きたい!」と言った子を支援し、そして、これを頑張る目標や楽しみにしてくれる子が僅かでも出てきてくれたらこの事業は成功だと考えています。

それにはより一層の信頼関係の構築が必要です。コロナ禍で徳義会さんの開催事業も次々と中止、縮小していますが40周年を機に深まりつつある関係を続けて行かなければなりません。

名言ひとこと**ブリテン委員長 森田 恵三**

生きることは愛すること
愛することは理解すること
理解することは赦すこと
赦すことは赦されること
赦されることは救われること

湯浅八郎



なる力“命”が与えられています。そして生きている間は、生命が充実しているという生命感を支えとしています。しかし、所詮生命は長くて100年で有限なものです。

私たちにとって、常にこの“生者必滅の理”を意識することが会員増強を論ずる場合には最も重要な基盤となります。

(2) 人の根源的使命

繰り返すことのできないう一度の人生を悔いの残るものとするか、全てをやりつくしたのものとして終わるかは、人それぞれの人生観によると思いますが、人には、根源的に種を維持するという大切な使命が与えられています。

たとえ、人の生命は朝露の如く消え失せても、良い種を残せば子孫末代までその家系は永続性を保持することが可能なのです。

(3) クラブ生命は無限に永続化

有限の生命体である人たちが、共感する理念のもとに会員として参画し、組織化されて団体となったクラブは無限の生命を維持しうる可能性が生じます。

クラブ誕生によって新鮮なエネルギーをYMC Aや地域社会奉仕のために放出し続けながら、何ら新陳代謝や生命の維持手当てをすることなく、ただ漫然と時を過ごせば、老化が進み、精気みなぎる若人も集まらず衰退して、やがてそのクラブは崩壊に至ることは自明の理であります。私はこれまでにこのような寂しい結末を数多く見てきました。

しかし、前述の種の維持の使命同様に、クラブ存立の理念を正しく承継するリーダーが、年ごとに独自性を組み込ませながらも継続性の原則を尊重して、時代に適応したクラブ運営と会員の増強、若返りの努力を惜しまず新陳代謝を続ける限り、クラブ生命は無限に永続し得るものとなります。(以下次号)

1. はじめに

EMCとは簡単に言えば「良い仲間を増やすこと」ということです。皆さんお手持ちのHandbookのワイズ用語抜粋にEはExtension新クラブの設立、MはMembership会員増強、CはConservation意識高揚(維持養育)であるとあり、西日本区ホームページの資料庫内にはEMC事業主任の業務内容、クラブ運営マニュアルにはEMCについての簡略な説明がありますので是非お読みいただくことをお勧めしたうえで、50年にわたる私のワイズ歴の中で学んだことを基に述べていきたいと思います。

ただ、皆さんご了解を得たいことがあります。私自身、今日までの50年にわたりEMC問題は常にワイズ活動の核心となる重要問題であるという信念を持ち続けて、ワイズへの情熱を支えてきたものと自負しています。それだけにこの「ワイズの小窓」を借りてEMCを語るには長文になるのは必定かと思しますので、かつて「ワイズ温泉どっぷり論」や「京都ウエストの温故知新」の長編をシリーズ物としてBAMBOOに掲載(いずれも21回)させていただいたのと同様ではないものの、貴重な紙幅を少なくとも数回にわたって使わせていただくことを皆さんにご了解いただきたいのであります。

2. 生命論からの会員増強

(1) 人の生命は有限

クラブを構成する会員は、人として生きるための基と

YMCAニュース12月号(2020年11月24作成)

1. インターナショナルチャリティーラン

心身に障がいのある子どもたちのためのチャリティープログラムです。

今年は「バーチャルラン」！みんなで走って歩いた距離をつなげて東海道五十三次(493km)走破をめざします。

日程：2021年1月16日(土)～31日(日) お好きなコースで、どなたでもご参加いただけます。



申込：こちらの専用QRコードからアクセスして必要事項を入力してください。申込期限は2021年1月6日(水) 詳細は案内、ホームページをご覧ください。

お問合せ：インターナショナルチャリティーラン事務局
(TEL) 075-231-4388

2. スキーキャンプ・ウインター&スプリングプログラム募集(スキー、雪あそび、体操教室、スイミング、アフタースクール)

各種プログラムを用意しています。1月までのスキーキャンプはGoToトラベル適用です。

ぜひお申し込みください。

お申込み：予約専用サイトe-YMCA

お問合せ：ウエルネスセンター

(TEL) 075-255-4709



日本ワイズの温故知新

直前アジア太平洋地域会長、田中博之ワイズの著作から転載させていただき、短編シリーズとして6回にわたり掲載いたします。ウエストの皆さんには「ワイズを知る」ための参考としてください。

(ブリテン委員長 森田恵三)

短編シリーズその5 12月号

【YMCAとの協働・自然災害被災地支援】

日本のワイズ運動の特徴のひとつは、YMCAとの緊密、良好な関係です。国際憲法のガイドラインには「全てのクラブ会員は、関連地区のYMCAの会員になることが望まれる」とされていますが、東・西日本区の定款では、いずれも「クラブの会員は、YMCAの会員になるものとする」と定められています。クラブにはその所在地にYMCAが無い少数の例外を除いて、YMCAの担当主事がクラブ会員として参加しています。

日本のワイズ、YMCAは、これまで、さまざまな面で相互に協力してきましたが、その具体的な例として自然災害被災者、被災地支援が挙げられます。近年では、1985年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2019年の台風19号・15号がその代表的な例です。両者は、常に協力して被災地でのワーク活動、募金活動を行ない、大きな成果をなしとげてきました。

日本で5回目の開催となったアジア（太平洋）地域大会である2019年の仙台での第28回アジア太平洋地域大会の最大の目的は、東日本大震災でのワイズとYMCAの働きを報告、振り返ることでした。この大会も東西日本区、仙台YMCAの協働によって成功裡に開催することができました。

2020年11/8(木)11月佐治期オープン役員会 (ハイブリッド方式) 議事録

司会：安平 書記

議事録：森田ブリテン委員長

会長挨拶：佐治会長

前月議事録確認の件：10月役員会11/10配信済

<報告事項>

- 10/22(木)キックオフ例会について 立山DR委員長 玉置達也君入会式挙行。ゲストが多数参加
- 10/25(日)ポテトワークについて 藤居ファド委員長 少々傷んだのが1箱あった。請求書は近日中に配信
- 11/22(日)竹林ワーク場所の栗の木について 林CS委員長 リトセンと竹林2組でワーク。詳細は後日
- 11/23(月)成人式事前サポート(徳義会生徒さん)について 林CS委員長 松本君の協力で衣装合せ
- 11/25(水)竹林 池田さんについて 佐治 会長 後日、林、牧野君が返却にあたっての挨拶訪問
- 11/26(木)第二例会について 立山DR委員長 松本啓一君入会式、40周年企画について全体協議
- ウエスト例会/事業の出欠回答 林書記 新システムについて。出欠回答は迅速にされたい
- WRM新年合同例会について 佐治会長 みやびクラブより中止通知ありウエスト独自例会とする
- ゲストご紹介検討シートについて 澤田EMC副委員長

各委員会1名の紹介で、目標5名を達成したい
10 京都部メネット献金について 佐治会長

メネット予算内で協力する
11 各事業委員会より報告

ブリテン委員長より 議事録は全員に配信されており簡略に掲載する事を一任する。例会スピーカーに柿島 裕ワイズ(大阪西)を招聘提案。CS委員長から国際事業のWeek 4 Wasteは参加の方向で委員会として協議済みとの報告あり。

ファンド委員長より メロンファンドの請求書配信。12月5日にミカンファンドを実施予定。

<協議事項> (協議後下記の通り可決)

- 1 佐治ワイズ紹介松本啓一さん11月入会について 佐治会長 推薦書を承認。第2例会にて入会式、配属は地域奉仕環境委員会とする。当日迄にオリエンテーションを実施する。
- 2 クリスマス例会 PT、登録費について 佐治 会長 19日18時より東急ホテル、PT委員長は島田EMC委員長、委員は一任。登録費は会員・成人コメット・メネットは5,500円(クラブ補助2,500円) ビジター・ゲストは8,000円(実費相当) 今回はコロナでコメットは参加不可
- 3 1月のウエストクラブの例会について 佐治会長 1月9日(土)新年例会として開催する。

<他クラブ関係> 特になし

<YMCA関係>

- 1 11/1(日)~30(月) 第三回京都YMCAチャリティゴルフ(ロングコンペ)について 佐治会長 ウエストより3名が参加予定
- 2 YMCA「国際協力募金お願い」・SNS 拡散協力をお願いについて 佐治会長 街頭募金は中止のため個々に募金協力をお願いする。
- 3 11/7(土) YMCAキャンプ100シンポジウムについて 佐治会長 参加者なし
- 4 11/15(日) リトセンオータムフェスタについて 河合Yサ委員長 参加者18名の内ゲスト2名が予定、ジャンボ餃子担当。今回は平安徳義会は不参加。参加総数は200名に縮小される。チケットは2000円(その内クラブ負担は1000円)

<京都部関係>

- 1 京都部活動報告 牧野国際・交流主査/島田直前部長 ボウリング大会は中止。北京都フロンティアがYMCA 杯子供野球大会を開催した。ウエストブリテンは好評とのこと。

<その他>

- 1 40周年記念例会の進捗状況 市橋実行委員長 2月6日は100人規模とする。企画案は進行中。記念誌編集にはブリテン委員会がかかわる。ウエスト将来宣言案を金澤会長以降6名の会長チームで検討していただく。
- 2 ワイズ将来構想特別委員会報告 森田 委員長 12/5中西部が関西ワイズビジネス交流会を立ち上げ、設立総会を開催するという動きがある。
- 3 ワイズメンズクラブ国際協会プロジェクト「Week 4 Waste」について 佐治会長 報告No.11の通り。

編集後記

ブリテン委員長 森田 恵三

10月号の東京西クラブに続いて熊本にシクラブから交流記事をいただいて感謝です。

今月のワイズの小窓は理屈っぽくて堅苦しいと側近のメネットから早速批評を受けました。まず基本からなので次号からは柔らか記事の予定です。



動画インタビュー番組『WEBバンブー』12月号

41期のブリテン企画動画インタビュー番組『WEBバンブー』！
 第5回目のゲストは、「渡邊 昌嗣ワイズ」です。
 お仕事の話を中心に、コロナ禍の中で苦闘しながらも、前へ進んでいく姿
 を取材しております！
 澤田ワイズと金澤ワイズがインタビューをすすめていきます。
 是非お楽しみください！

再生はこちらから・・・ <https://youtu.be/vRKexxUpRwM>



Happy Birthday

林茂(12/16)・澤田長利(12/27)
 吉川香絵 (12/8)



Happy Anniversary

塚本勝己・由美 (12/22) 胡内大輔・陽子(12/23)
 萬谷寿顯・晃子(12/24)

2020年12月スケジュール

3日	木	三役会	19:00	三条 Y
5日	土	みかんファンド		滋賀青果
10日	木	第一例会役員会	18:00	三条 Y
19日	土	クリスマス例会	19:00	東急 H
26日	土	ウエスト忘年会		

2021年1月スケジュール

7日	木	三役会	19:00	三条 Y
9日	木	新年例会	17:00	京都国 際会館
14日	木	第一例会役員会	19:00	三条 Y

メンバー数

会 員 35名
 広義・功労 6名
 特別メネット 1名
 合 計 42名

第一例会(役員会)

メ ン 20名
 広義・功労 名
 メネット 名
 コメット 名
 ゲ ス ト 名
 ビ ジ タ ー 名
 合 計 20名

第二例会

メ ン 35名
 広義・功労 2名
 メネット 4名
 コメット 名
 ゲ ス ト 名
 ビ ジ タ ー 2名
 合 計 43名

ニコニコ

前月累計 26000 円
 第二例会 16000 円
 累 計 42000 円
 豪雨震災募金
 前月累計 0円
 8月 0円
 合 計 0円

ファンド

前月累計 7,900円
 11月 551,576円
 合計 559,476円

11月出席率97%
 メイクアップ含む
 10月出席率97%